

新クリーンセンター稼働後のごみ処理について

★津山誠心会議 中島完一



質問 ↓新クリーンセンター稼働後の分別方法はどのように違ってくるのか。
現在の分別の種類は減るのか。

答弁 ↓旧市内の地域においては、容器包装以外のプラスチック製品、皮革製

品、ゴム製品が現在は「不燃ごみ」の分別区分になっているが、新クリーンセンター稼働後は「可燃ごみ」の分別区分になり、「不燃ごみ」の分別区分になっている乾電池、蛍光灯、水銀式体温計が「資源ごみ」の分別区分になる。分別区分は減ることはなく、「プラスチック容器包装ごみ」の分別区分がない久米地域においては、新たに分別が必要になる。

質問 ↓ごみ袋の有料化は継続するのか。

答弁 ↓ごみ減量やリサイクルに関する施策を継続していくうえで、ごみ袋の有料化についても継続が必要であると考えている。

施設入所待機者解消に向けての対応はどうか

緑風会 木下健二



質問 ↓津山市では養護老人ホーム2施設、特養老人ホーム7施設、介護老健施設7施設、その他33施設があるが、現在でも約250名の待機者がおられ、長い方は4〜5年待機されてい

る。国や津山市は在宅介護を進めているが、家族がいなかったり、老人世帯では老々介護となる人もいる。入所待機者を減らす努力をし、国民年金受給者でも入所できるような、国や県に理解を求められないか。

答弁 ↓施設入所待機者の解消について平成25年度末までに特養では1200床が整備される。市として様々な介護サービスを提供できる体制を確立し、入所待機者の解消に努めてまいりたい。低所得者の負担軽減や高齢者の多様なニーズへ対応するため機会をとらえ、国・県に要望してまいりたい。

自主防災組織の活性化について

公明党津山市議団 川端恵美子



質問 ↓市の自主防災組織の設立・避難所の指定・避難設備の整備・住民に対する情報提供の状況はどうか。

答弁 ↓80組織、155町内会で自主防災組織が設立され、51・8%の組織率

である。避難所は公立施設を中心として140カ所指定しているが、本年再調査をしている。福祉避難所として11月に9つの社会福祉法人と協定を締結。現在FMラジオを活用した情報伝達を検討している。

質問 ↓より効果的な自主防災活動ができるために連絡協議会設立の考えは。行政と自主防災組織の連携強化が必要としているが、一定の活動事業費助成等についてできる点はないのか。

答弁 ↓自主防災組織連絡協議会発足は今後検討する。活動事業費助成は県にも要望し、支援の充実を図りたい。

東北被災地復興へ職員の派遣を!

新政クラブ 秋久憲司



質問 ↓東北被災地へ復興支援を行っている民間ボランティア活動への支援は今後も継続的に行うべきでは。

答弁 ↓民間ボランティアによる支援活動は今後も各分野で長期にわたる。自主的な活動を尊重しながら連携や側面的な支援を行政も行っていく。

質問 ↓被災地への復興支援のため職員を派遣すべきでは。

答弁 ↓被災地の復興支援は長期に及ぶもので、全国への職員派遣の要望は1,380名にものぼっている。津山市も復興支援のため職員の派遣が実現できるよう努力する。